



東アジア海文明の歴史と環境

— 中韓日 研究者の語る東アジア海文明の未来像 —

メイン会場

学習院大学 (JR 目白駅徒歩 0 分) 西 2 号館 201 教室

2010 年

2 月 27 日 (土)

司会：諏訪哲郎 (学習院大学教職課程教授)

12:30 開場

13:00-13:10 主旨説明

13:10-14:20 **張東翼** (慶北大学校歴史教育科教授) 「高麗時代対外関係の諸相」

14:30-15:40 **安介生** (復旦大学歴史地理研究中心教授) 「中国魏晋南北朝時代の海洋認識について」

16:00-17:10 **佐藤洋一郎** (総合地球環境学研究所副所長・教授) 「稲作からみた東アジア海文明の環境史」

17:10- 学長挨拶 **福井憲彦** (学習院大学長)

2 月 28 日 (日)

司会：高柳信夫 (学習院大学外国語教育研究センター教授)

8:30 開場

9:00- 9:10 主旨説明

9:20-12:30 部会報告

第 I 部会 **東アジア海文明における交流—列島・半島・大陸—** 西 2-306

鐘江宏之 (学習院大学文学部准教授) 「藤原京造営期の日本における外来知識の摂取と内政方針」

李文基 (慶北大学校歴史教育科教授) 「墓誌から見た在唐高句麗遺民の先祖意識」

森部豊 (関西大学文学部准教授) 「7～8 世紀の北アジア世界と安史の乱」

吳吉煥 (立教大学講師) 「百濟初期王系の成立について」

畑中彩子 (学習院大学文学部助教) 「長登銅山にみる日本古代の銅山経営と流通」

第 II 部会 **越境するモノ・情報・認識** 西 2-305

禹仁秀 (慶北大学校歴史教育科副教授) 「明清交替期の台湾鄭氏海上勢力に対する朝鮮の情報蒐集と対応」

洪性鳩 (慶北大学校歴史教育科助教授) 「韓国と満洲—満洲理解の歴史」

金知恩 (慶北大学校大学院博士課程) 「朝鮮後期の星湖李瀾の東アジア観」

荒川正明 (学習院大学文学部教授) 「福建と日本の陶磁」

家永遵嗣 (学習院大学文学部教授) 「15 世紀室町幕府の「辺境」認識の成立条件—將軍近臣と北辺・西辺の在地勢力」

第 III 部会 **中国古代の地域と古環境の復元** 西 2-304

濱川栄 (早稲田大学高等学院教諭) 「漢代徙民考」

中村威也 (首都大学東京講師) 「里耶秦簡から見た民族と支配」

長谷川順二 (学習院大学 PD 共同研究員) 「前漢期黄河故河道の復元—山東省聊城市～平原県～徳州市」

惠多谷雅弘 (東海大学情報技術センター研究員) 「衛星リモートセンシングデータの古環境・遺跡調査への応用とその有効性について」

黄曉芬 (東亜大学客員教授) 「秦直道の調査と認識」

第 IV 部会 **東方大平原における水運・流通** 西 2-204

樊如森 (復旦大学歴史地理研究中心副教授) 「民国時期の黄河水運」

市来弘志 (学習院大学講師) 「五胡十六国北朝期の黄河下流における牧畜民の活動」

水野卓 (慶応義塾大学講師) 「春秋邗溝考」

青木俊介 (学習院大学 PD 共同研究員) 「邗溝と漢代東方水上交通」

菅野恵美 (学習院大学講師) 「山東地域における交通と図像の流通について」

第 V 部会 **東アジアの環境史—水利・技術・災害—** 西 2-205

村松弘一 (学習院大学東洋文化研究所准教授) 「東アジア史における陂と塢」

小山田宏一 (大阪府教育委員会文化財保護課主査) 「東アジア海沿岸低地の開発類型—鑑湖・碧骨堤・東大寺領名荘」

大川裕子 (日本女子大学講師) 「銭塘江逆流と鑑湖—古代江南開発の再検討」

段偉 (復旦大学歴史地理研究中心副教授) 「水利と災害からみた東アジア史—自然災害と中国古代の行政区の変遷」

鄒怡 (復旦大学歴史地理研究中心講師) 「1391～2006 年の龍感湖—太白湖流域の人口推移と湖の体積物との呼応性」

13:30-15:30 総括 (部会報告の共有と討論)

15:45-16:45 **鶴間和幸** (学習院大学文学部教授) 「東アジア海文明の歴史と環境—5 年間を振り返って」